

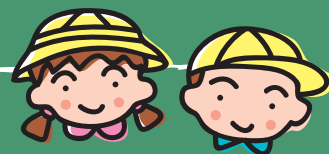
みんなのスペース



甲斐谷こいき(6)



富士なるみ(9)



しぶなし だいき くん
(山田町第一保育所・6)

ぼくは大きくなったらいようし
にいたい。大好きなアジを
いっぱい釣るんだ。



阿部日那乃(6)



姫神(13)



阿部友希菜(8)

投稿に字数制限を設けては

毎回道報やまだ「みんなのスペース」欄に掲載して
いただきまして、ありがとうございます。

つきましては日ごろ感じていることを述べてみたい
と思ひまして一考をお伺いしますが、限られたスペ
ースの欄でもあり、投稿してもいつも同じメンバーな
よう「あれでは」と一般の声を耳にしたりするので、
岩手日報のように投稿規定で字数を何字以内としたら
いかがでしょうか。多くの投稿者のためと思ひまして
感慨を知りたいものです。

齋藤忠雄(船越・83)

【回答：広報担当】

いつも投稿していただき、ありがとうございます。
今回のご提言をいただき検討した結果、今号から投稿
規定を改正いたしました。詳しくは13頁左下の囲み
をご覧ください。



富士正子(69)



LOON(15)



佐々木鮎美(12)



外館瑞穂(11)



ペぺちゃん(?)



RUNA(11)

父から教えられた地名の由来

人は年をとるにつれて父母の記憶が鮮明になるという。自分も年をとったのか、
小学生のころ父親から浜の帰りに地先の地名について教わったことが鮮明によみ
がえる。

鰹島のそばをこいでいたら、「この島の由来を知ってるか」と話す父。「昔カツ
オが大漁で満船になった船が、入港するのがもどかしくこの島にカツオを揚げた
また沖へ漁に出たという言い伝えがある故に覚えておけ」と。

船は南へ進み、狭隘なる船道を通り抜けようとしたが、櫓がガツンと岩に。「こ
こは昔『勤兵衛さん』というおまえみたいに下手な人が難儀をした場所なので
『勤兵衛泣かせ』という伝説のある場所だ」。何で勤兵衛おれが泣く。

垂水漁場基点に連なる焼ノ石海岸には悲劇の英雄、義経にまつわる伝説がある。
大浦にいる義経を威圧するため、十二神山山頂から弓の名人が朝が焼ノ石海岸の
巨岩に一矢を射た。巨岩が炸裂し弓の威力を物語る疵痕が今も輝いているので、
義経を偲び「的石」と呼んでいる。

山崎卓三(大浦・?)

やまだ文芸広場

ハーネスを付けてとせがむ盲導犬
引退の為家出行くに

菊地孝進(船越・86)

春弥生果立った娘等も親となり
末孫も卒園夢見る未来

大川ヒメ子(大沢・64)

故里の山田よいとこ好きな町

菊地閑悟(山田・88)

啓蟄や残寒厳し霞露ヶ岳
あの絶景に足とまりてや

大町ティ子(大沢・?)